

CITPコミュニティの紹介

鳥は飛ばねばならぬ

CITPコミュニティ代表
株式会社ラック 浜本 拓

2014年 個人認証で資格取得

2015年 コミュニティに初参加

2020年 コミュニティ代表（兼 フォーラム代表）に就任

- 勤め先の人事部門の勧めで多くの社員がチャレンジ
- 最初は数ある（取得奨励金対象の）資格のひとつ
- コミュニティ参加のきっかけは招待メール

CITP資格取得前

充実しつつも「もやもや」を抱えていた日々

- 様々なプロジェクトでPMとしてのキャリアを積み上げ
- 技術者としての突き抜けたスキルは習得できず
- プロジェクトを繰り返す、この先の道のりにモヤる
- CITP合格後、コミュニティから招待メールが届く

CITPコミュニティに参加 更にモヤるも、新しい展開に期待

- ピカピカなCITPコミュニティとそのメンバーに萎縮と憧れ
- でも自分のような半端者のほうが世の中は多数派なはず
- 半端者が一步を踏み出せた

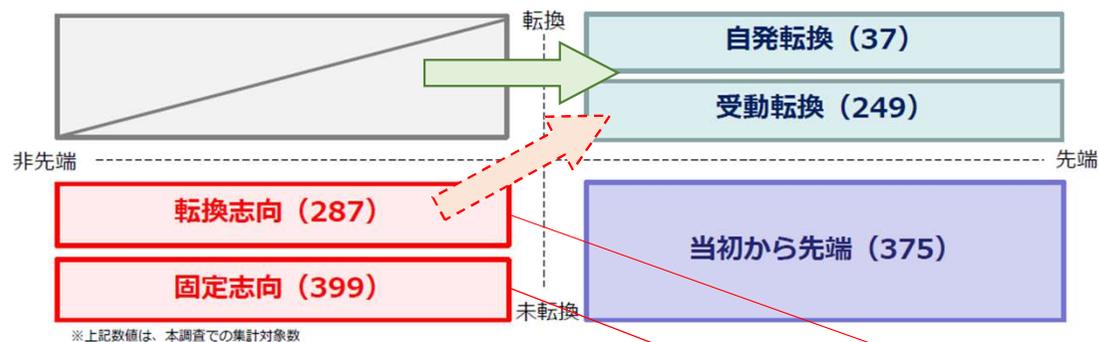
2021年 IPA「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」

<https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20210422.html>

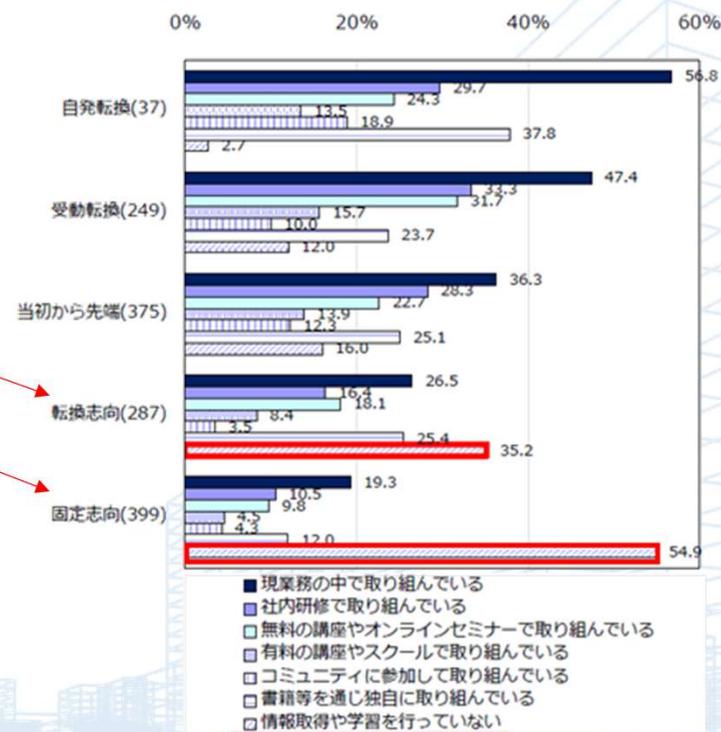
- IT人材を、先端領域（データサイエンス、AIなど）への転換に対する意識や経験により5タイプに分類
- 変わりたいと思う「転換指向」の3人に1人は何もしていない

2021年 IPA 「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」

<https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20210422.html>



今後身につけるべきスキルに関し、以下のような情報取得や学習に取り組んでいるかお答えください。(MA)



非先端領域に従事しているIT人材の半数が、先端領域への転換を希望しない（58%）し、スキルアップのための情報収集や学習を行っていない（47%）

先端領域への転換を希望していながらスキルアップのための情報収集や学習を行っていない（35%）理由は、自信がない（49%）し時間もない（44%）、インセンティブ（44%）と支援（41%）が欲しい

※ 情報推進機構「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」統合報告書より抜粋し筆者により図示を追記

IT業界において、外に出ないということは死んでいるに等しい

デジタルビジネス・イノベーションセンター(DBIC) ディレクター 鹿嶋氏

- 人生は長くビジネスの変化は速くなり、逃げ切ることはますます困難
- 他人任せにせず、自分自身のキャリアの主導権を握るべき
- 一方通行の内向きの学びから、他流試合による共創へ

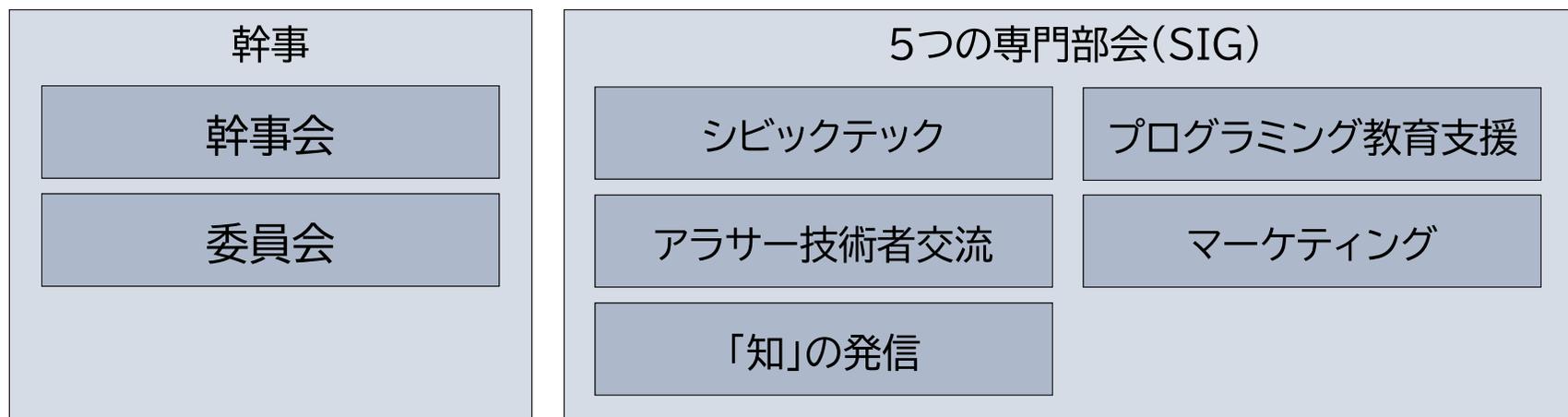
高度な素養を持つプロフェッショナルに対する専門資格をIT分野でも創設することで、

IT技術者を弁護士や医師並みに社会的に尊敬されるような 職業にしたい

情報処理学会 元副会長 旭氏

- 有資格者の自発的な学びを促進するプロフェッショナル
コミュニティ
- IT技術者の価値を社会に還元する

CITPフォーラムを運営する、有資格者によるコミュニティ



- 情報処理学会CITPフォーラムを運営
- 2～3か月に1度の全体定例会
- コミュニティの活動主体は5つの専門部会（SIG）
- どの専門部会にも参加でき、自ら立ち上げも可能

鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ
一寸先は闇ではなく 光であることを知らねばならぬ

詩人 坂村真民

「鳥は飛ばねばならぬ」一部抜粋



- 「念ずれば花ひらく」「二度とない人生だから」で知られる
愛媛県ゆかりの詩人 坂村真民の詩

